

3 施設の維持管理										
施設の保守点検業務、小破修繕業務等	県作成の公園長寿命化計画を基本に、高度な保守点検と修繕を実施。各施設の修繕等においては樹林地等の発生材を有効活用	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検、専門点検等の実施 ・公園協会、各公園でのクロスチェックによる施設点検 ・点検結果や修繕の記録は独自の施設管理台帳に記録 ・優先順位をつけた計画的な維持管理(補足説明資料②) 	8
清掃業務	利用者が安全・快適に公園を利用し満足してもらえるよう随機随便な清掃管理	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況に応じた清掃 ・落ち葉堆積や苔発生で滑りやすくなった木道、デッキなどの清掃 ・ガイドラインに基づいた衛生対策の実施 ・公園巡視時に簡易な清掃用具セットを携帯(補足説明資料③) 	8
受付業務	おもてなしの心をもってお迎え、すべての人に楽しんでもらえる受付・案内	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な利用案内と接遇研修の随時実施 ・筆談用具、翻訳機などを用意したユニバーサルなサービス、丁寧な受付・案内 	8
警備業務	不定期に夜間の巡視警備を行い犯罪の起こりにくい環境を維持	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・通年夜間、年末年始昼間の巡回警備を実施 ・地域一体となった防犯の強化、見通しの確保など犯罪が起こりにくい環境を維持 ・ホテル観賞時における駐車場対応 	9
樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地管理5年計画及びエリア別植物管理計画図に基づいた計画的な植物管理 ・危険木の早期発見と継続的な危険木処理 ・ボランティアと連携・協働した動植物の調査・保全 ・生物多様性を低下させる外来生物の戦略的な防除 	実施	同左	同左	同左	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・ナラ枯れ被害の速やかな報告と要因となるカシナガ捕獲のためのトラップ設置、薬剤注入 ・モミジの苗木育成と植栽 ・危険木テーマの点検、危険性の高い枯れ枝の除去 ・ボランティアと連携・協働した動植物のモニタリング調査と保全活動(補足説明資料④) ・特定外来生物の駆除(ウシガエル、アライグマ)(補足説明資料③) 	9、10、11、12	
管理基準以上の提案	高木管理(軽剪定)	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	利用者の安全確保のため、高木軽剪定225本以上を実施	13
	高木剪定(枯損木処理)	実施(県執行含む)	同左	同左	同左	同左	同左	同左	利用者の安全確保のため、枯損木100本以上の処理を実施	13
	里山管理(下草刈)	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	生物多様性などのため10,000㎡以上を実施	13
	アライグマ等の駆除(処分)	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	在来生物の保護のため1頭の駆除を実施(補足説明資料③)	13
維持管理の水準を担保するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者による業務の推進 ・業務効率化の取組 ・コスト削減の工夫 ・防災機能の強化 ・スタッフのスキルアップ 	実施	同左	同左	同左	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・公園管理運営士など有資格者の配置 ・管理マニュアルの整備、維持管理情報の蓄積、PDCAに基づく効率化などの実施 ・複数年契約や物品の一括発注、植物性廃棄物をリサイクルチップ・堆肥として活用、ゼロエミッションの推進等を図る ・災害時に備えた備蓄品の点検補充、設備の定期点検の実施 ・技術研修や安全管理講習会への参加、OJT等による維持管理技能のアップ 	13	

4 利用促進のための取組									
公園の特例や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等(有料施設は除く)	「畑での農体験プログラム」の創出	実施	新たに「津久井在来大豆」の栽培を予定	募集、運営開始	同左	同左	プログラムの枠組み作り(補足説明資料⑤)	14	
	資源循環型管理に関連したプログラムの充実 ・雑木林の落ち葉かき&焼き芋作り ・発生材を活用したシイタケのほだ木作り	実施	各プログラム運営開始	同左	同左	同左	落ち葉掻き&焼き芋作り開催	15	
	SDGs実践普及の場としての「やとやま学校」の開設	実施	プログラム運営に向けた準備	募集、運営開始	同左	同左	体験プログラムを実施	16	
	県の3033運動と連動したセルフ運動プログラム	実施	運営開始	同左	同左	同左	・案内マップの公民館等への配布 ・ウォーキングポストの解説版をパークセンターへの掲示 ・血圧計、体脂肪計の設置(補足説明資料⑤)	17	
	森林セラピーロード認定等の取組	調整中	座間市と連携したトライアルイベントを実施	森林セラピーの試行	同左	同左	・認定に向けた関係団体との調整 ・座間市と実施に向けた打合せ	17	
	遊び体験等に関するプログラム ・ツリークライミングやハンモック、スラックライン体験プログラム ・プレイパーク ・オリエンテーリング その他のレクリエーションプログラム等 ・「改訂版 歴史散策マップ」の作成・配布 ・「旅たび相模 周遊モデルコース」との連携	プログラム実施団体を模索中だが時間を要すと思われる。	準備・試行	同左	定期開催	同左	プログラム実施団体との連携・調整	18	
	新しい生活様式に対応した利用促進 ・360度カメラを用いた疑似体験動画の配信 ・QRコードを活用した案内システムの導入	調整中	同左	システムの導入	同左	同左	・散策マップ改訂版作成の資料収集、準備 ・公園HPへのリンク設置	18	
	有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	自販機の増設	実施	パークセンター入口に	同左	同左	同左	北口トイレ側に2台設置	20
	多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	小田急電鉄との「公園の魅力向上と公園を活用したまちづくりに関する連携協定」を締結	実施	同左	同左	同左	同左	本公園を含む小田急沿線の公園や周辺地域の魅力のPRや広報を実施	20
		様々な媒体や地域のネットワークを活用した情報発信 ・公園公式ホームページの充実	実施	同左	同左	同左	同左	ブログ、Twitter、Facebook等の情報発信の拡充	21
様々なツールを使った効果的な情報発信 ・QRコードを活用した解説板 ・外国人利用者のための翻訳機の設置		未実施	解説板へのQRコード設置開始	同左	同左	同左	・QRコードシステムの準備 ・翻訳機の導入(パークセンター、里山体験館)	21	
パークセンターや里山体験館、ログハウスの有効活用と情報発信		実施	同左	同左	同左	同左	展示やボランティア活動の紹介スペースとしての利用や活動の場を推進	22	
5 自主事業の内容等									
公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	ポストカード、ストラップ等の販売	パークセンターでも販売開始	鍋敷きを新たに販売開始予定	同左	同左	同左	充実継続	23	
	公園協会オリジナルカレンダーの販売	実施	同左	同左	同左	同左	充実継続	23	
	里山体験館やパークセンターでの福祉団体のクッキー等の販売	公園まつりで実施	イベント開催時での販売	充実継続	同左	同左	障がい者就労施設等との調整	23	
	公園協会独自試算(SDGs積み立て資産)を活用した取組	・点字パンフレットの作成、サイン(簡易掲示)用のピクトグラム作成 ・防災用食料及び衛星電話等、防災備蓄品の購入	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	・点字パンフレットのデータ作成 ・災害対応アンブルボードの導入 ・備蓄用オムツの導入	28、48
6 利用料金の設定・減免の考え方									
該当せず			同左	同左	同左	同左			

7 利用者対応・サービス向上の取組									
接客や利用者との対話、公園利用 ルールの利用者への助言、指導等の 考え方	・利用案内の手引き(仮称)の作成 ・おもてなしバッグの携帯	調整中	導入	活用	同左	同左	導入に向けた準備作業	25	
	・窓口、電話、メール対応 ・情報共有による利用者サービスの向上 ・ユニバーサルサービスの提供	実施	同左	同左	同左	同左	開放的でフレンドリーな窓口への接遇の 向上	26	
	利用ルールの策定と周知等	実施	同左	同左	同左	同左	各種マナー、ルールの周知	26	
	サービス向上のために利用者 ニーズ・苦情の把握及びその内容の 事業等への反映の仕組み等	苦情・要望データベースの構築	実施	同左	同左	同左	同左	事例蓄積による活用と情報の共有化によ る利用者満足度向上と新規利用者の獲 得	27
	外国人、障がい者、高齢者等誰もが 円滑に施設利用するための、コミュニ ケーションにおける工夫及び必要に応 じた支援の方針	外国人への対応	実施	モニター制度の運用	同左	同左	同左	・HPを4カ国語に対応 ・自動翻訳機の導入 ・外国人モニター導入に向けた準備 ・ピクトグラムの活用	27、28
障がい者への対応		実施	同左	点字パンフ、看板の 導入	同左	同左	・点字の案内看板、パンフレットの自主財 源での導入準備 ・コミュニケーションボード導入 ・筆談器導入	28	
高齢者への対応		調整中	同左	導入	同左	同左	高齢者への利用環境の整備	29	
子育て世代への対応		実施	同左	導入活用	同左	同左	パークセンターと里山体験館に授乳コー ナーを設置	29	
神奈川県手話言語条例への対応	職員研修として手話講習会を開催	調整中	実施予定	同左	同左	同左	研修会への参加	29	
8 日常の事故防止、緊急時の対応									
指定管理業務を行う際の公園の特性 を踏まえた事故防止等の取組内容	リスクマネジメントによるリスク抽出、分析・対策立案、実 行、再評価による事故の未然防止	実施	同左	同左	同左	同左	日々の巡視によるリスク情報の共有化と 早期対応	30	
	事故不祥事防止会議の実施	実施	同左	同左	同左	同左	原則月1回協会本部での園館場長会議で 実施	31	
	所内会議・毎朝の作業前ミーティング等の実施	実施	同左	同左	同左	同左	所内会議毎月1回実施、作業前ミーテ ィング毎朝実施	31	
	全国一斉施設点検ハトロールの実施	実施	同左	同左	同左	同左	年1回実施	31	
	地域と連携した防犯、子ども110番の家への登録	実施	同左	同左	同左	同左	同左	座間市へ登録・表示、受入れ体制の整備	33
	消防計画に基づく消防訓練と、山林火災防止のマナー 啓発	実施	実施予定	同左	同左	同左	同左	消防署指導の下消防訓練の実施	33
	公園管理安全マニュアル等の整備	調整中	作成作業	整備	同左	同左	同左	適宜マニュアル等の見直しを行い更新	34
樹林地の過密化や巨木化等に起因す る災害を未然に防止する点検等の考 え方	日々の巡視や状況に応じた安全対策や、台風シーズン 前に集中的な点検を実施	実施	同左	同左	同左	同左	6月～7月に樹林地の枯れ枝、掛かり枝等 の点検を実施	34	
事故・不祥事等の緊急事態が発生し た場合や安全管理の妨げとなりうる事 案を認知した際の対応方針	「事故・不意商事に関する報告書」により適切に報告し、 「再発防止会議」を設置し、	実施	同左	同左	同左	同左	事故発生時にクライシスマネジメントに基 づき適確に対応	35	
外国人、障がい者、高齢者への対応として、多言語表記 や「やさしい日本語」を活用	外国人、障がい者、高齢者への対応として、多言語表記 や「やさしい日本語」を活用	調整中	実施予定	実施	同左	同左	同左	掲示物やHP、パンフレット等の表記に順 次適用	36
	避難の補助として車椅子牽引補助装置を導入し、車椅子 の避難誘導を行う	実施	同左	同左	同左	同左	同左	パークセンターに車椅子牽引補助装置を 配備	37
9 急病人及び新型コロナウイルス等への対応									
急病人等が生じた場合の対応	上級救命講習の実施(主任以上3年に1回) 全職員へのAED取扱い訓練実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	該当職員の講習会受講と訓練の実施 (補足説明資料⑥)	38
	幼児安全法支援員の資格取得	実施	同左	同左	同左	同左	同左	資格取得へ向けた準備と取得	38
新型コロナウイルス等の感染症に対 する対応方針	感染防止対策(消毒、検温、喚起等)の実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	県の感染防止対策の指示の下対応	39
	職員、利用者の感染が判明した際の対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	まん延防止対策の適確な実施と関係機関 との連携	40

10 災害への対応(事前、発生時)										
異常気象(大雨、台風、熱中症アラート等)への対応方針(事前、初動、発生時、応急復旧等)	「県立都市公園等における災害(地震・風水害)対策活動指針」に基づき対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	指針に基づき適確に対応し、適宜見直し	42	
	台風の接近、大雨洪水に関する対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	タイムラインに沿った具体的な対応	42	
	ゲリラ豪雨や雷等への対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	公園利用者への注意喚起、園内放送や屋内退避等の呼びかけ	43	
	熱中症警戒アラートへの対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	熱中症応急セットの配備、空調作業服の導入	43	
	公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等の対応	初動時～緊急時から復旧・復興時の対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	タイムライン(防災行動計画)に沿った迅速な対応	44
		IP無線機、衛星電話他を配備し多様な通信手段の確保	実施	同左	同左	同左	同左	同左	配備し定期的な通信訓練の実施	46
大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方(地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等)	災害に備えた事前対策	実施	同左	同左	同左	同左	同左	災害情報の受発信、災害対策マップの活用と更新、防災資機材の点検と更新	46	
	防災訓練と職員教育	実施	同左	同左	同左	同左	同左	シェイクアウトブラスワン、緊急参集訓練の実施(年1回) (補足説明資料⑥)	44、47	
	災害発生後のスムーズな業務継続	実施	同左	同左	同左	同左	同左	業務継続計画(BCP)に基づく迅速、適確な業務復旧	49	
11 地域と連携した魅力ある施設づくり										
多様な主体(地域人材、自治会、関係機関)との連携、協力体制の構築等の取組内容	市民参加型公園管理運営の一層の推進	実施	同左	同左	同左	同左	同左	「県立座間谷戸山公園運営会議」の継続	50	
	地域や関係団体と連携したイベント等の実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	「谷戸山公園まつり」、「共同イベント」の充実継続	51	
	地域の子ども食堂への貢献	実施	同左	同左	同左	同左	同左	公園で収穫された野菜等を子ども食堂へ提供	51	
ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	実施	同左	同左	同左	同左	同左	「里山保全隊」の充実継続	51	
	「やとやまサポーター登録制度」の創出	調整中	同左	同左	同左	同左	同左	制度の枠組み作り	52	
	公園で活動する多様な団体等の発掘	調整中	同左	同左	同左	同左	同左	企業のCSR活動や、学校のSDGs受け入れ準備	52	
周辺施設(他の公園、施設等)との交流・連携内容	他の公園、周辺施設等との交流・連携	一部実施	同左	同左	同左	同左	同左	「花とみどりのフォトコンテスト」、市の公園との連携したイベントの開催等	53	
地域企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	各種非営利団体(厚木市森林組合、市シルバー人材センター、NPO法人エバークリーン21等)への業務委託	実施	同左	同左	同左	同左	同左	委託業務の充実継続	54	
12 人的な能力、執行体制										
指定期間を通じて効果的・効率的にして居管理業務を行うための人員配置等の状況	責任者・主要職員の適切な配置	実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画に示す経歴等での人員配置	55	
	有資格者の適切な配置	実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画に示す有資格者(資格、人数)の配置	56	
業務の一部を委託する場合の管理・指導体制の状況	協会会計規定に基づく契約方法の決定・業者選定・履行確認	実施	同左	同左	同左	同左	同左	高齢者就労団体や障がい者就労施設への委託も継続	58	
指定期間を通じて効果的・効率的にして居管理業務を行うための人員配置等の状況を通じて安定して指定管理業務を行うための日々のOJTや研修等の人材育成体制や職員採用の状況	研修の受講、資格取得の推進 民間との人材交流	実施	同左	同左	同左	同左	同左	人材育成の仕組みに基づく実施	58、59	
	公募による人材確保(正規職員) 地元人材の活用(非常勤、作業員等)	実施	同左	同左	同左	同左	同左	適正な採用の実施	59	

13 コンプライアンス、社会貢献										
法規や労働関係法規の遵守	施設設備、労働関係、文書管理等の諸規程に基づく法令遵守の徹底	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	諸規定の整備と運用	62
4つの環境目標達成への取組	低炭素社会への貢献	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・再エネ電力の積極的活用 ・樹林地の管理、事務所の省エネ等	63
	生物多様性保全	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・草地、樹林地、水辺等に配慮した管理 ・希少種保護、外来種駆除等	63
	循環型社会への貢献	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・発生材の園内活用、ゴミの削減 ・グリーン購入促進等	63
	普及啓発の促進	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	観察会、市民団体の活動連携、職員研修等	63
環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムによる継続性の確保	実施	同左	同左	同左	同左	同左	システムの継続運用	63	
本公園での具体的な取組	環境負荷軽減	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・伐木材を丸太ベンチや木道の補修材等で活用 ・太陽光発電を活用した充電式工具への充電等	64
	自然環境保全への配慮、環境教育	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・草地、湿地に環境に応じた維持管理、特定外来種の駆除、植物のモニタリング調査等	64
障害者雇用の促進	障害者の直接雇用と障害者就労施設等への積極的な業務発注	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	法定雇用率を上回る雇用努力の実施	64
ともに生きる社会かながわ憲章の趣旨を踏まえ取組	職員研修、合理的配慮、イベントや利用者への普及啓発	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・職場内研修や障害者理解促進研修の実施 ・車いすの貸し出し等物理的配慮 ・障がい者の状況に応じた丁寧な対応 ・公園利用者等への普及啓発	65
手話言語条例への対応	普及体制、職員への教育、利用環境の向上	調整中	実施	同左	同左	同左	同左	同左	・職員への教育、研修の実施 ・コミュニケーションツールの設置等	65、66
社会貢献活動等、CSR	事業運営を通じて地域社会への公園、環境への配慮を行い、地域の活性化、SCRの取り組みを進める	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・地域雇用、観光協会との連携、地域活性化イベント等による経済の地域循環 ・公園緑地に関する大学等の研究、教育の場の提供、幼稚園や学校等の校外学習活動への協力 ・企業等のCSR活動支援	66
SDGsへの取組	JV各社によるSDGs達成に向けた取組の実施、本公園での具体的な取組の実施	調整中	一部実施予定	実施	同左	同左	同左	同左	・SDGs積立資産を活用した桜の更新やユニバーサルサービスの順次実施 ・各ゴール達成に向けた取組の実施	66、67
14 事故・不祥事への対応、個人情報保護										
個人情報保護のための方針・体制	諸規程整備による個人情報の適正な保護	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・個人情報保護のための組織体制の構築 ・個人情報保護のための諸規程の整備	68
職員に対する教育・研修体制	各研修、会議の開催による個人情報保護の徹底	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・新規職員研修の実施 ・実務担当者研修の実施 ・所属長会議及び事故・不祥事防止会議の実施 ・必要に応じて外部研修を受講	69
個人情報の取扱い	厳格な取扱いの徹底 個人情報の漏えいが発生した場合の対応 電子データの取扱いに関するセキュリティ強化 ソーシャルメディア利用での対応 情報公開への対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・個人情報等の情報管理に関するチェックリスト等に基づき、鍵付き書庫等での厳重な管理、シュレッダー等による確実な廃棄等、厳格な管理 ・個人情報漏えいが発生した場合、速やかな報告と防止措置 ・ウイルス感染や不正アクセス等に備えた「対応マニュアル」や体制整備による電子データの取扱いに関するセキュリティ強化 ・「ソーシャルメディアの利用に関するガイドライン」に基づく個人情報の適切な取扱い ・「情報公開規程」の定めによる情報公開申出への対応	69、70

※本表と併せて、各項目の実施状況のわかる具体的な資料(説明資料・写真・作業一覧・新聞切抜きなど)を添付して提出して下さい。